



# 公共図書館と電子書籍

～「お散歩e本」から見えてきたこと～

---

豊田高広(愛知県田原市図書館)

期日:2013年10月29日(火)

会場:パシフィコ横浜(横浜市)



# 自己紹介

---

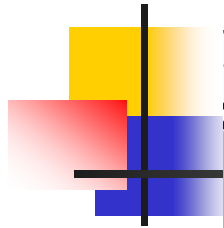
豊田高広(とよだたかひろ)

1958年、静岡市生。静岡市役所入所後、94年から図書館勤務。開設準備にあたった御幸町図書館(Library of the Year 2007優秀賞)で06年から館長。10年4月、愛知県田原市図書館長として単身赴任。

著書(共著)

『図書館はまちの真ん中』(勁草書房)

『市場化の時代を生き抜く図書館』(時事通信社)



# 中央図書館外観





# 「田原市図書館の目標」2011.4

---

1 自立を助け、人がつながらる機会を提供します

<http://www.city.tahara.aichi.jp/section/library/pdf/H23aim.pdf>



田原市図書館は、目的志向。

---

1-1 地域を元気にします

1-2 一人ひとりの自立を支えます

1-3 人と人のつながりを育みます



田原市図書館は、目的志向。

---

自立

# 元気はいたつ便 2011 ~







田原市図書館は、目的志向。

---

地域

# お散歩e本 2012～





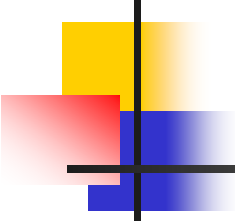
田原市図書館は、目的志向。

---

つながり

# 田原まちじゅう本想い(まちほん) 2013.11.16-17





# お散歩e本(おさんぽいいほん) とは

---

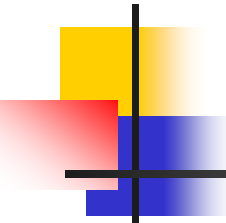
田原市内で「お散歩」ワークショップを行い、成果をガイドブックとしてまとめた田原初の電子書籍

[http://www.city.tahara.aichi.jp/section/library/info/osanpo\\_ehon.html](http://www.city.tahara.aichi.jp/section/library/info/osanpo_ehon.html)

お散歩e本(おさんぽいいほん)

とは

EPUB形式(イーぱぶ:電子書籍の標準的な規格)でダウンロード可。



お散歩e本(おさんぽいいほん)  
とは

---

スマートフォンやタブ  
レット端末に入れ、  
気軽な散策のお供  
に！

お散歩e本(おさんぽいいほん)

とは

---

ダウンロードしなくても、  
bookpic(ぶっくぴっく:美術  
出版ネットワークスの電子ビ  
ューアサイト)にて公開。ブラ  
ウザ上で閲覧可。





## お散歩e本刊行の経緯

---

- 田原市と愛知大学の連携・協力に関する協定にもとづく委託研究契約。
- 正式名称は、平成24年度田原市「お散歩e本」刊行実験事業。
- 市費だけど図書館予算ではありません！（政策推進課所管）



## お散歩e本刊行の目的

---

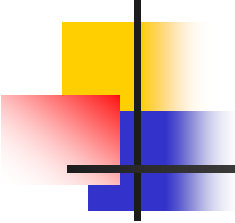
- 地域の存在価値を目に見えるように。
- 地域に密着した新たな図書館の具体的なイメージを示唆。
- 未来の「司書」教育のモデルを提示。



地域の存在価値を目に見えるように。

---

- ワークショップで「まちの宝」を発掘。
- 読みやすく編集し、インターネットで広く公開。
- 学習教材、観光ガイド...



## 地域に密着した新たな図書館の 具体的イメージを示唆。

- ワークショップを行い、成果を電子書籍にまとめ、発信を行う活動の、開かれた拠点となる。
- こうした活動を推進するため、MALUI+CGの協働をコーディネートしていく。



# MALUI+CGとは？

---

- M : Museum
- A : Archive
- L : Library
- U : University
- I : Industry
- C : Community
- G : Government



## MALUI+CGとは？

---

点から面へ。

連携から連動へ。



# 未来の「司書」教育のモデルを提示。

---

- ワークショップする力。
  - 成果を編集する力。
  - 電子書籍や著作権を扱う力。
  - コーディネートする力。
- ...大学教育も、職員研修も。



# お散歩e本刊行実験の流れ

---

お散歩ワークショップ実施



原稿執筆、映像編集、地図作成



書籍編集、電子書籍制作



電子書籍公開、おひろめ会



# お散歩ワークショップ実施

- ・資料をもとにコース  
選定(図書館)
- ・地元の方のガイドで  
「まちの宝」を探し  
ながらお散歩。イン  
タビュー、撮影。  
(愛知大学、皇學館  
大学)





# 原稿執筆、映像編集、地図作成 書籍編集、電子書籍制作

---

- ・インタビューやお散歩の感想をもとに原稿執筆。(皇學館大学)
- ・映像・地図等のコンテンツの作成・編集から書籍全体の編集と電子書籍の制作まで。(愛知大学)
- ・田原市と愛知大学の契約により、公開にあたっての本書の著作権にクリエイティブ・コモンズのライセンスを利用。



# 電子書籍公開、おひろめ会

---

- ・電子書籍をiPadや図書館ウェブサイトで公開(図書館)
- ・電子書籍をbookpic(民間の電子ビューアサイト)で公開(愛知大学)
- ・研究成果を田原市内での「おひろめ会」と成果報告書(愛知大学リポジトリーで閲覧可能)で発表(愛知大学)



# 「お散歩e本」刊行実験で分かったこと

- 継続的な地域資料の収集と活用のために図書館がワークショップ、イベントなど「人の動き」をデザインする重要性。
- 電子書籍を図書館員が外部との協働により制作する可能性。
- 電子書籍と「お散歩」活動が、静的な連携ではなく動的な連動により、地域社会に活性化のインパクトを与える可能性。



## 「お散歩e本」の次のステップ

---

- 新たなテーマ(ふしぎ篇)について、一般の市民や図書館員自身が電子書籍の制作について学び、参画する。
- 平成25年度「公民館等を中心とした社会教育活性化支援プログラム」により、文部科学省の委託事業として実施する。



## 電子書籍に関する「勘違い」

---

- 図書館の電子書籍事業は、書店で売られているベストセラーなどを、電子書籍として無料で貸出するサービス...



## 電子書籍に関する「勘違い」

---

...ではない！

日本の図書館では困難な事情が多々...



## 今、そこにある「未来」

---

- だが、電子書籍という「未来」の萌芽はすでに、図書館に存在する。
- 障害者サービスを目的とした録音図書等
- 学術系の電子ジャーナルやデータベース
- 地域情報等のデジタル・アーカイブを「読む」ツールとして...（「お散歩e本」もその試みの一）





# 公共図書館の未来への扉を開 けよう！

---

- 貸出総点数を競うだけでは図書館の可能性は見えてこない。
- 地域資料こそ、公共図書館の個性の源。
- デジタルアーカイブや電子書籍に注目すれば、地域資料の可能性は大きく広がる。
- 電子書籍に関する経験と知識とスキルをたくわえて、図書館の本格的な電子書籍化に備えよう。



## 参考

---

1. 岡野裕行「E1443 - 司書課程でまち歩き  
電子書籍「お散歩e本」制作プロジェクト」  
(カレントアウェアネス-E No.239 2013.06.20)

<http://current.ndl.go.jp/e1443>

2. **平成24年度田原市「お散歩e本」刊行実  
験事業**(愛知大学リポジトリ)

[https://aichiu.repo.nii.ac.jp/index.php?active\\_action=repository\\_view\\_main\\_item\\_snippet&page\\_id=13&block\\_id=17&index\\_id=263&page\\_no=1&list\\_view\\_num=20&sort\\_order=10&search\\_type=detail&andor=and&lang=japanese](https://aichiu.repo.nii.ac.jp/index.php?active_action=repository_view_main_item_snippet&page_id=13&block_id=17&index_id=263&page_no=1&list_view_num=20&sort_order=10&search_type=detail&andor=and&lang=japanese)